放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和　2年　3月25日　　事業所名　児童デイサービス　ゆめさきクラブ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1	1	4	屋外での活動を多く取り入れ、利用者のニーズに応えている。	同一敷地内の別事業所とも相互理解を図り、活動場所の確保や、利用者のニーズに合わせた環境の設定を行う。
	2	職員の配置数は適切である	1	2	3	休暇が重ならないように、お互いで連絡を取り合っている。	利用者の活動を確保するためにも、法人内で職員体制の見直しを図っていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1	1		現在の所、身体障碍児の受け入れなし。 状況に応じて対応を検討する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	2		月に1度法人内各事業所統括が会議を実施し、法人内での協力体制について確認している。	非常勤職員との情報共有を丁寧に行う必要がある。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	3			現在は送迎時などに口頭にて行っているが、今後、アンケート等にて意向の聞き取りなど実施したい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	2		当法人にの事業所ページにて情報を公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	3	2		法人内でも話し合い、外部評価をうまく活用し、業務改善に努めたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			研修内容を共有し、業務に反映している。	法人内でも職員の資質向上のための整備を進めている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	1			保護者、利用者と個別に面談を行うことで、お互いのニーズの確認を実施したい。お互いの希望にズレを感じる場面がある。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		4	2		臨床心理士など、専門的な見地からのアセスメントツールの作成を検討している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			毎月プログラム会議を実施している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1			利用者の希望を広く取り入れ、実施可能か話し合いを通して活動を計画している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	3			毎月、目標を設定し達成の為に意識して日々の支援を行う。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	6			利用者が無理なく活動できるよう、配慮しながら計画を作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			毎朝のミーティングにて実施している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	3		毎朝のミーティングにて実施している。緊急性のある事案はその都度対応している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			翌朝までに記録し、職員間で情報のすり合わせを行い、検証している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			計画相談員と連携し、話し合いを持っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	5	1		利用者の意見も反映しながら活動を考慮している。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			事業所での様子が伝わる様に配慮している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6			学校からの連絡や学級担任を通して連絡調整を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		4	2		現在の所、受け入れはしていない。 状況に応じて対応を検討する。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	2	2		計画相談員からの情報が主であるが、支援の記録など、情報の共有を図っていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	1		個人情報に留意し行っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3	1		今後、事業所だけでなく法人全体でも研修会など検討したい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	1	1		法人内学生との交流や、地域の公民館を利用するなどして、交流を図っていきたい。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		4	2		今後、積極的に参加し情報強化したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			モニタリング時や送迎時にアセスメント実施。	保護者との連絡網を整備し、連絡が取りやすくなる環境を整えた。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている	1	5			保護者会等を開催し、気軽に集まれる機会を設置し話し合える場を持ちたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1		利用開始前、本契約時に実施。	日々の利用の中でも質問等あれば、すぐに対応できる体制を整える。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1		保護者との信頼関係の構築に努めている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2			保護者会等を開催し、気軽に集まれる機会を設置し話し合える場を持ちたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1		契約時に苦情解決の窓口についての説明を実施。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			毎月の活動状況やスケジュールを保護者に発信している。	保護者との連絡網を整備し、連絡が取りやすくなる環境を整えた。
	35	個人情報に十分注意している	6			関わる職員へ周知徹底している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			個々の状況に応じて視覚化、筆談等対応。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4	2		今後、事業所でのイベント時など協力依頼するなどして、地域資源の開発に努めたい。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	3	1		法人内で整備後、職員や保護者へ周知する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			定期的(6ヵ月毎)実施。	消防署での救急救命講習など参加し、職員が緊急時に対応できる体制を整える。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			全職員で研修参加し、意識を高めている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6				身体拘束の内容について、法人内でも話し合い 保護者へ丁寧に説明していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2			指示書については、必要性について説明した上で、保護者と協議し。決定していきたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	1	5			事例については職員間で共有しているが、文書化していないため、今後作成し、整備する。